

## 矢島祐利著作目録

- 注 著作名の後の(1)は『科学者と科学』（鉄塔書院、一九三〇年）に再録を示す。  
(2)は『科学史と科学』（扶桑書房、一九四八年）に再録。  
(3)は『科学的断片』（理学社、一九四八年）に再録。  
(4)は『科学文学』（アルス選書、一九四八年）に再録。  
(5)は『アラビア科学史序説』（岩波書店、一九七七年）に再録。

### 一九二六年（大正十五）— 一九四五年（昭和二十）《戦前・戦中の部》

- 思ひ出すこと アララギ 島木赤彦追悼号（アララギ発行所、一九二六年一〇月）  
ヴォルタの略伝とその業績(1) 東洋学芸雑誌（興学会、一九二七年八月）  
フレネルの事蹟(1) 東洋学芸雑誌（興学会、一九二七年一二月）  
『灸海観瀾』及び『気海観瀾広義』について(3) 東洋学芸雑誌（興学会、一九二二年）  
ホッペの『物理学史』について(3) 東洋学芸雑誌（興学会、一九二八年三月）  
デカルトの物理学(2) 東洋学芸雑誌（興学会、一九二八年七月）  
パスカルの理学抄(1) 東洋学芸雑誌（興学会、一九二八年一〇月）  
科学史その他(2) 東洋学芸雑誌（興学会、一九二八年十一月）  
ナポレオンと物理学 東京朝日新聞（一九二九年二月五、六日付）  
フィゲンス生誕三百年(1) 自然科学（改造社、一九二九年四月）  
現代における自然科学史の研究(2) 東洋学芸雑誌（興学会、一九二九年六月）  
トオマス・ヤング(1) 東洋学芸雑誌（興学会、一九二九年八月）  
ハイゼンベルクの方法について(2) 大学新聞（一九二九年一〇月二一日付）  
アルキメデスの墓じるし 東京朝日新聞（一九二九年一二月六、七日付） ノ  
科学は顛落するか(3) 大学新聞（一九二九年一二月二八日付）  
キヤヴエンディッシュ 岩波講座「物理学及び化学」第七回（一九二九年一二月）  
宇宙論を引込めたデカルトの話 大学新聞（一九三〇年一月一三日付）  
蘭人ボイスの理学書について(3) 大学新聞（一九三〇年四月一五日付）  
焰の電氣的磁氣的性質（抄訳） 日本数学物理学会誌（一九三〇年四月）  
『科学者と科学』（鉄塔書院、一九三〇年六月）  
チンダルのアルプス紀行 大学新聞（一九三〇年十一月一〇日付）  
一九二九年のノーベル物理学受賞者(3) 東洋学芸雑誌（興学会、完三〇年一二月）  
ゲーリュサック 岩波講座「物理学及び化学」第二二回（一九三一年三月）

物理学史・物理学老年叢 岩波講座「物理学及び化学」第二二回（一九三三年三月）  
物理学史 観近物理学講座（共立社、一九三一年）  
『近世物理学史序説』（鉄塔書院、一九三一年一二月）  
チンダル『アルプスの氷河』第一部（翻訳） 岩波文庫（一九三二年一月）  
テンダル『アルプスの氷河』第二部（翻訳） 岩波文庫（一九三二年九月）  
十七世紀のアカデミーと大学(2) 鉄塔（鉄塔書院、一九三二年一〇月）  
On statistical distributions of earth-quakes in Kwansai district, *Bulletin of the Seismological Institute*, Tokyo, 1932.  
シュレーディンガー『自然科学は環境に制約されるか』（書評）(3) 大学新聞（一九三三年一月三〇日付）  
科学文学(4) 岩波講座「文学」（一九三三年三月）  
金属の超電気伝導 応用物理（工政会、一九三三年三一七月）  
言語と風土(3) 鉄塔（鉄塔書院、一九三三年四月）  
チソダル『アルプスの旅より』（翻訳） 岩波文庫（一九三三年四月）  
ブランク『物理学的認識への道』（書評）(3) 大学新聞（一九三三年五月二九日）  
マッカーホーンの椿事について（翻訳） 鉄塔（鉄塔書院、一九三三年六月）  
ホイヘンス 岩波講座「物理学及び化学」増訂版第二七回（一九三三年八月）  
或るユダヤ人の自伝から(2) 鉄塔（鉄塔書院、一九三三年八月）  
山岳語その他(3) 鉄塔（鉄塔書院、一九三三年九月）  
シエスターの『回想録』から(2) 大学新聞（一九三三年一〇月二三、三〇日付）  
アインシュタインの平和的言説なるもの(2) 鉄塔（鉄塔書院、一九三三年一〇月）  
ファラデー『蠟燭の科学』（翻訳）、後に『ロウソクの科学』と改む 岩波文庫（一九三三年一二月）  
或る科学者の生活断片(2) 文芸（改造社、一九三四年一月）  
アインシュタイン「理論物理学の方法について」（翻訳） 科学（岩波書店、一九三四年一月）  
粉体の運動について 科学 寄書欄（岩波書店、一九三四年一月）  
科学的な、余りに科学的な(2) 大学新聞（一九三四年一月一五日付）  
ファラデーの日記（I—IV） 応用物理（一九三四年一一四月）  
  
科学教育について(2) 教育（岩波書店、一九三四年二月）  
井戸水の電気抵抗 科学 寄書欄（岩波書店、一九三四年三月）  
Formation of vortex rings from a liquid drop, *Nature*, vol. 133, pp.414-5, 17, Mar. 1934.  
科学と政治 科学 巻頭言（岩波書店、一九三四年五月）  
器械の感情(3) 大学新聞（一九三四年六月四日付）  
科学者の文章(4) 東京朝日新聞（一九三四年六月二一、二二、二三日付）  
粉体の運動(11) 科学 寄書欄（岩波書店、一九三四年七月）  
チンダル『アルプス紀行』（翻訳） 岩波文庫（一九三四年七月）  
「科学文学」その他(4) 唯物論研究（唯物論研究会、一九三四年九月）

ピッカール教授の昇空手記 応用物理（一九三四年九—一〇月）  
ハイゼンベルク「物理学的自然説明の歴史について」I（翻訳） 科学（岩波書店、一九三四年—二月）  
Some experiments on powder and sand, *Scientific Papers of Physical and Chemical Research*, Tokyo, 1934.  
ハイゼンベルク II（翻訳） 科学（岩波書店、一九三五年一月）  
熱線流速計 応用物理（一九三五年二—三月）  
周期を見出すペリオドグラムの方法 応用物理（一九三五年四月）  
ファラデーの日記（V） 応用物理（一九三五年五月）  
ギルバート・ホワイト(4) 大学新聞（一九三五年五月—三日付）  
科学雑俎（I—VIII）(3) 大学新聞（一九三五年五—七月）  
大英王立研究所の教授たち（翻訳） 応用物理（一九三五年七月）  
ボルツマン「ヨゼフ・シュテファン」（翻訳） 応用物理（一九三五年八月）  
読書備忘 改造（改造社、一九三五年九月）  
科学時評(3) 大阪朝日新聞（一九三五年九月二〇、二一、二五日付）  
科学時評の問題(3) 工業大学蔵前新聞（一九三五年九月三〇日付）  
人工放射能 応用物理（一九三五年—一〇月）  
十九世紀初頭までの起電機（翻訳） 応用物理（一九三五年—十一月）  
核物理学概要 応用物理（一九三五年—十二月）  
その頃を語る 大学新聞 十五周年記念号（一九三五年—二月四日付）  
カレント・ブックス 大学新聞（一九三五年—二月）  
科学書の翻訳(3) 中外商事新報（一九三六年貢二三、二四、二五日付）  
科学雑俎（IX—XIV）(3) 大学新聞（一九三六年一月—三月）  
ラッセル『宗教と科学』（書評）(3) 大阪朝日新聞（一九三六年二月七日付）  
ルクレチウス以後の寺田先生 思想寺田寅彦追悼号（岩波書店、一九三六年三月）  
ファラデー雑記(2) 大学新聞 読書の眼（一九三六年三月三日付）  
科学論文雑感(3) 工業大学蔵前新聞（一九三六年八月三日付）  
バーベリオン日記(4) 書物展望（一九三六年九月）  
信州数日 大学新聞（一九三六年九月—四日付）  
子供物理学史 婦人之友（婦人之友社、一九三六年—一〇月）  
寅彦の日記に現われた漱石 漱石全集月報（岩波書店、一九三六年岩月）  
寺田先生の初期の文章 寅彦全集月報（岩波書店、一九三六年竺〇月）  
科学書の批評——ジャーナリズムと科学(3) 大学新聞（一九三六年二月二六日付）  
寺田先生を憶ふ 東京朝日新聞（一九三六年三月三、品、妄日付）  
  
動く昆虫記（築地小劇場の公演を観て） 大学新聞（一九三六年三月二—一日付）  
亜流批評を排す(3) 大学新聞（一九三七年二月）  
自然科学(3) 文学界 文化月報欄（一九三七年四月）  
自然科学の歴史的批判的研究(2) 中央公論（一九三七年四月）  
〔JJ〕トムソンの『回想録』(2) 早稲田大学新聞（一九三七年五月五日付）

水槽に生ずる潮目 科学 寄書欄 (岩波書店、一九三七年六月)  
大戦と科学者(2) 改造 (改造社、一九三七年七月)  
まさ子を憶ふ 婦人之友 (婦人之友社、一九三七年七月)  
ロード・ラザーフォード(3) 応用物理 (一九三七年一二月)  
サリヴァン『ニュートン』(書評)(3) 学燈 (丸善、一九三八年六月)  
ブランク生誕八十年(2) 知性 (河出書房、一九三八年七月)  
一年 改造 (改造社、一九三八年七月)  
水と風の描く波紋 (リップルマーク解説) 婦人之友 (婦人之友社、一九三八年七月)  
漱石・鷗外・寅彦 東京朝日新聞 (一九三八年八月一三、一四、一五日付)  
Die oscillierende Bewegung des Atmospharengguttels, *Die Naturwissenschaften*,  
Jg. 26, 843-4, (30 Dez.) 1938.  
『キュリー夫人伝』を読む 婦人之友 (婦人之友社、一九三九年二月)  
ファラデー 岩波講座「物理学」月報 (一九三九年二月)  
ファラデー余談(2) 岩波講座「物理学」月報 (一九三九年四月)  
文芸の享受について(3) 濠 (物理学校文芸部、一九三九年七月)  
をさなごの墓 新風土 (小山書店、一九三九年八月)  
ホワイト『宗教と科学との闘争』(書評)(3) 大学新聞 (一九三九年一月)  
マックスウェル 岩波講座「物理学」第一四回 (一九四〇年二月)  
尾瀬ヶ原 今月の臨床 (一九四〇年二月)  
マテオ・リッチと科学 改造 時局増刊号 (改造社、一九四〇年二月)  
科学の歓び(3) 濠 (物理学校文芸部、一九四〇年二月)  
御坂峠から土肥 山小屋 (一九四〇年四月)  
日本科学史の問題 中央公論 春期特別号 (一九四〇年四月)  
科学者伝記雑感(2) 岩波講座「物理学」月報 (一九四〇年四月)  
火災実験における気流測定 応用物理 (一九四〇年四一五月) (真島正市・谷安正・岡島  
慶三郎・花田実共著であるが、気流測定は主に矢島が担当した。これは一連の実験の一  
部である。この実験は大阪警察部の主催で、同主旨の報告がその印刷物に出ているは  
ずである)  
ファラデー 知性 (河出書房、一九四〇年五月)  
小倉金之助『日本の数学』(書評)(3) 読書新聞 (一九四〇年六月)  
ヘルムホルツ 岩波講座「物理学」第一八回 (一九四〇年七月)  
『ファラデー』岩波新書 (一九四〇年七月)  
イスフォルディング 『理学入門』について 学燈 (丸善、一九四〇年九月)  
ケルゲイン卿 岩波講座「物理学」第二一回 (一九四〇年一〇月)  
『耶蘇会土日本通信』から 中央公論 (一九四〇年二月)  
『藪柑子』を読む 読売新聞 (一九四一年三月八日付) (一九四二年六月、光風館刊『好日  
随想』に再録)  
マルチネットの『格致問答』について 科学 寄書欄 (岩波書店、一九四一年三月)  
トムソンとラザーフォード(2) 科学人 (一九四一年三月)  
高野長英の理化学の研究 改造 (改造社、一九四一年七月)

失はれたる日本の科学書 東京朝日新聞 学界余滴欄（一九四一年八月三日付）  
高野長英の『三才窮理書』に就て 科学 寄書欄（岩波書店、一九四一年九月）  
再び日本の科学書 東京朝日新聞（一九四一年一二月二日付）（一九四二年七月、甲鳥書  
林刊『学界余滴』 に再録）  
物理学的科学に関する渡来外国書 オランダ書の部 科学史研究第1号（岩波書店、一九  
四一年一二月）  
扶餘遊記 創元（一九四一年一二月）  
村上英俊の物化学研究 科学 寄書欄（岩波書店、一九四二年一月）  
最近の科学論に於ける操作主義(2) 城大学報（京城帝国大学、一九四二年五月一日付）  
本邦における初期の物理学的研究 科学史研究第2号（岩波書店、一九四二年六月）  
本邦における物理学の発達 日本学術協会報告第17巻第1号（一九四二年一〇月）  
日本における科学の発達(3) 釜山、朝日文化講座（一九四二年一〇月）  
本邦における初期の物理学的研究（Ⅲ） 科学史研究第4-5号（岩波書店、一九四三年  
一月）  
支那における科学的断片 応用物理（一九四三年一月）  
小林謙貞の『二儀略説』 科学 寄書欄（岩波書店、一九四三年二月）  
朝鮮における科学的断片 応用物理（一九四三年二月）  
本邦における初期の物理学的研究（Ⅰ）（Ⅱ）の補遺 科学史研究第6号（岩波書店、一  
九四三年六月）  
本邦における窮理学の成立（Ⅰ） 科学史研究第7号（岩波書店、一九四三年十一月）、  
物理学的科学に関する渡来外国書（Ⅲ） 英米独仏の部 科学史研究第7号（岩波書店、  
一九四三年十一月）  
本邦における窮理学の成立（Ⅱ） 科学史研究第8号（岩波書店、一九四四年五月）  
明治初期における物理学の状態 科学史研究第9号（岩波書店、一九四五年五月）

## 一九四六年（昭和二十二 一 一九八〇年（昭和五十五）《戦後の部》

物理の話（Ⅰ Ⅱ） 学生（一九四六年九月一〇月）  
寺田先生のこと アララギ（一九四六年一二月）  
本の思ひ出 日本評論（日本評論社、一九四六年一二月）  
炭火の科学(3) 東京中央放送局より放送（一九四六年一二月六日）  
キョソスニーのこと アサヒグラフ（朝日新聞社、一九四七年一月）  
物理の話（Ⅲ） 学生（一九四七年一月）  
物理の話（Ⅳ） 学生（一九四七年二月）  
ファラデーの生涯 螢雪時代（旺文社、一九四七年三月）  
いちょうの木に 季刊大学 創刊号（一九四七年四月）  
アイソシュタインのことば(3) 読書新聞 読書講座（一九四七年六月大目付）  
ボルツマン(2) 科学圏（青山書院、一九四七年七月）

石原純先生 アララギ (一九四七年一〇月)  
『電磁理論の発展史』(河出書房、一九四七年一〇月)  
エネルギー恒存則の成立 科学技術 (一九四八年一月)  
レーザーフォードの原子核研究の創始 アララギ (一九四八年二月)  
ガリレイと材料力学の研究 雑誌 TECH (一九四八年八月)  
家庭学校の記 文芸春秋 (文芸春秋社、一九四八年十一月)  
球の最密充填の隙間 科学 寄書欄 (岩波書店、一九四八年十一月)  
線状二重電荷のポテンシャル 科学 寄書欄 (岩波書店、一九四八年二月)  
『科学概論と科学史』(河出書房、一九四九年三月)  
桑木或雄先生の追憶 科学史研究第 10 号復刊第 1 号 (岩波書店、一九四九年四月)  
『二儀略説』の研究 科学史研究 (同上)  
『物理学史』(朝倉書店、一九四九年四月)  
『物理学史の断面』(青山書院、一九四九年四月)  
アリストテレスの『フィジカ』について 科学史研究第 11 号 (岩波書店、一九四九年七月)  
『世界の科学・日本の科学』 アテネ文庫 (弘文堂・一九四九年一〇月)  
『寺田寅彦』(岩波書店、一九四九年一〇月)ノ  
『ジュール エネルギーの原則』(日本科学社、一九四九年)  
『マックスウェル』(弘文堂、一九五〇年一月)  
昆陽メモリアル 文塾春秋 (一九五〇年二月)  
オーギュスト・コントと科学史 科学史研究第 14 号 (岩波書店、一九五〇年四月)  
『近世科学史』(弘文堂、一九五〇年四月)  
『電磁気学史』 岩波全書 (一九五〇年九月)  
アムステルダムからパリへ 東京理科大学新聞 (一九五〇年一〇月一日付)  
オランダの印象 読書新聞 (一九五〇年一〇月四日付)  
読書遍歴 読書新聞 (一九五〇年一〇月一八日付)  
ケイの古本屋 図書 (岩波書店、一九五〇年十一月)  
学生の言葉 教育手帳 (日本書籍、一九五〇年十一月)  
『世界の科学者』(石田周三共著) 中学生全集 (筑摩書房、一九五〇年一月)  
日本の技術 技術と経営 (一九五〇年一二月)  
ブーロニユの森 電信電話 (郵政省、一九五〇年一二月)  
ニュートン祭 郵政 (郵政省、一九五〇年一二月)  
オランダ日記 図書新聞 (一九五一年一月一七日付)  
History of science in Japan(a short report), Archives *Internationales d'histoire des Sciences*, Quatrième Année, Numéro 14, 94-99, Janvier 1951, Paris.  
フランスにおける科学史研究 科学史研究第 17 号 (岩波書店、一九五一年一月)  
寅彦の歌と赤筆の加筆 アララギ (一九五一年三月)  
マルケンとフォレンダム 郵政 (郵政省、一九五一年四月)  
ライデン、ハーレム、パリの科学博物館 科学史研究第 18 号 (岩波書店、一九五一年四月)

- 『科学用語辞典』（石田周三共著） アテネ文庫（弘文堂、一九五一年五月）  
フォンテンブローの森 アララギ（一九五一年七月）  
ヘルムホルツ 『力の恒存』 古典解題 現代自然科学講座 I（弘文堂、一九五一年七月）  
国際科学史連合に加入して 科学史研究第 20 号（岩波書店、一九五一年一〇月）  
サートソ『科学の生命』（書評） 読売新聞（一九五一年一〇月一〇日付）  
アルセーヌ・ダルソンバール 東京理科大学新聞（一九五一年一二月）  
世界の科学研究所——イギリス 現代自然科学講座 V（弘文堂、一九五二年一月）  
世界の科学誌 現代自然科学講座 VI（弘文堂、一九五二年二月）  
Cours d'histoire des science au Japon, *Arch. Int. d'Hist. d. Sci.*, Nos. 18-19, 70-78,  
Janvier-Juin 1952.  
C・シンガー著・山田坂仁訳『魔法から科学へ』（書評） 図書新聞（一九五二年二月四日  
付）  
マックスウェル『電磁気学』 古典解題 現代自然科学講座 VIII（弘文堂、一九五二年五月）  
落沢忠枝編訳『フランクリンの手紙』（書評） 図書（岩波書店、一九五二年五月）  
パリの宿 雑魚（東京理科大学学生の雑誌、一九五二年六月）  
ユネスコの科学文化史編纂計画 図書（岩波書店、一九五二年七月）  
ミラノの奇蹟 毎日新聞 ヘリコプター欄（一九五二年一二月）  
寺田寅彦先生 ゆうびん（郵政省、一九五二年一二月）  
Durch books On Science and technology brought to Japan in the XVIII and XIX  
Centuries, *Arch. Int. d'Hist. d. Sci.*, No. 22, 76-79, Janvier-Mars 1953.  
『家事と雑用』（矢島せい子共著） 婦人叢書（岩波書店、一九五三年五月）  
Bibliographie du Dr. Yoshio Mikami, *Actes du Septième Congrès International  
d'Histoire des Sciences*, 646-658, Aout 1953.  
ベールシェバの旅 旅（日本交通公社、一九五四年一月）  
電気学の先駆者 電気計測（一九五四年一〇月）  
『明治文化史第五巻学術篇』（野村兼太郎共編）（洋々社、一九五四年一二月、この中の  
「自然科学篇総説」執筆）  
インド数学史研究資料（岩本裕共著） 科学史研究第 33 号（岩波書店、一九五五年三月）  
メイスン著『科学の歴史』上（田中実・稲沼瑞穂・平田寛・八杉龍一共訳）（岩波書店、  
一九五五年一二月、下は一九五六年二月）  
Les sciences physiques au Japon durant l' ètre de Meiji (1868-1912), *Arch. Int. d'Hist.  
d. Sci.*, No. 34. 3-12, Janvier-Mars 1956.  
『科学思想史入門』（修道社、一九五六年三月）  
上野図書館蔵和蘭窮理書 蘭学資料研究会報告第 9 号（一九五六年四月）  
科学史の意味づけについて 小倉金之助博士古稀記念論文集『科学史と科学教育』（大日  
本図書、一九五六年七月）  
近代力学の成立 理想（理想社、一九五七年五月）  
船載分離蘭書——十九世紀のオランダ化学書と日本の化学 蘭学資料研究会報告第 19 号  
（一九五七年一〇月）  
Theorie nébulaire de Shizuki (1760-1806), *Arch. Int. d'Hist. d. Sci.*, No. 47, 169-173

- (Notices et Documents), Avril-Juin 1958.
- 宗教改革の科学への影響 近代思想史講座第2巻 (弘文堂、一九五九年一月)
- 日本の技術におけるオランダの役割 蘭学資料研究会報告第44号 (一九五九年二月)
- 中世科学史の根本問題 科学史研究第50号 (岩波書店、一九五九年六月)
- 中世科学史の意味づけについて 科学史研究第50号 (同右)
- 十八世紀について 科学史研究第50号 (同右)
- 科学史の領域について 日本学術会議 境界領域の科学についてのシンポジウム (一九五九年六月)
- デカルト『哲学原理』の第三・四巻について 物理学史研究第5号 (一九五九年一〇月)
- 民俗資料としての占星術 図書 (岩波書店、一九六〇年八月)
- 十五世紀科学史の計画 科学史研究第55号 (岩波書店、一九六〇年九月)
- 志築忠雄の『混沌分判図説』の翻訳 蘭学資料研究会報告集74号 (一九六〇年十一月)
- Un projet de l'histoire des sciences au XVe siècle, *Arch. Int. d'Hist. d. Sci.*, Nos. 52-53, 268-269, Juillet-Décembre 1960.
- 日本の科学の歴史 朝日新聞社編『日本科学技術史』1-10 (一九六二年三月)
- Coup d'oeil sur l'histoire des sciences au Japon, *Japanese Studies in the History of Science*, Tokyo, No.1, 3-6, 1962.
- マヌエル・モスコプロスの方陣 数学史研究第2巻第7号 (日本数学史学会、一九六三年一二月)
- De l'inertie de la pensée humaine—ce qu'on voit à rencontre des deux civilisations hétérogènes, *Japanese Studies*, No.2, 154-163, 1963.
- L'Entretien nocturne avec l'ombre de Souguita Guenpakou, *Ibid.*, 154-169.
- The European influence on physical sciences in Japan, *Acceptance of Western Cultures in Japan*, published by the Century for East Asian Cultural Studies, Tokyo, 106-117, 1964.
- 『アラビア科学の話』 岩波新書 (一九六五年二月)
- 日本における地球の認識について 三枝博音記念論集『世界史における日本の文化』(第一法規出版、一九六五年七月)
- 稲沼瑞穂君を悼む 科学史研究第76号 (岩波書店、一九六五年九月)
- A propos des sciences et des techniques au Japon depuis 1900, *Cahiers d'Histoire Mondiale*, Éditions de la Baconnière, Neuchâtel, IX-2, 179-186, 1965.
- 思い出あれこれ 『真島正市先生と応用物理』(真島正市先生顕彰祝賀記念会、一九六六年一月)
- 平田森三さんの追憶 図書 (岩波書店、一九六六年六月)
- なぜ科学史を研究したか 新科学論 (東京理科大学科学史研究部、一九六七年三月)
- ブランクの著書について 東京理科大学ブランク祭パンフレット (一九六七年六月)
- イスラム文化の一様相としてのイスラム科学——とくにその成立過程について(5) 東京理科大学紀要第1号 (一九六八年三月)
- 明治前日本科学史総説 『明治前日本科学史総説・年表』(学術振興会、一九六八年三月)
- イスラム科学の発展過程の一考察——とくに諸外国からの翻訳について(5) 東京



- 理科大学紀要第2号（一九六九年三月）  
Meiji-zen Nippon Kagakushi (L'Histoire des Sciences au Japon devant l'ère de Meiji)  
(Compte rendus), *Japanese Studies*, No. 7, 159-166, 1968.
- 鉦山技師ポール・オジエのこと 朝日新聞 研究ノート（一九七〇年一月九日付）  
イスラム科学の保護者たち——イスラム科学者の活動の舞台(5) 東京理科大学紀  
要第3号（一九七〇年一〇月）  
コワネ文書について——鉦山技師コワネとオジエの新資料（ユネスコ東アジア文化研究セ  
ンター、一九七〇年一二月）  
アル・ジャーヒズの『動物の書』について——イスラムのアダブの書の一典型(5)  
東京理科大学紀要第4号（一九七一年三月）  
Lettres d'un ingénieur français au Japon de 1877 à 1881—De P. Ozier à F. Coignet,  
*Japanese Studies*, No. 10, 27-57, 1971.
- イスラムにおけるアリストテレス研究——とくにその科学について(5) 東京理科  
大学紀要第5号（一九七二年三月）  
チソダル『発見者ファラデー』（翻訳） 現代教養文庫（社会思想社、一九七三年七月）  
日本におけるコペルニクス 湯川秀樹ほか 『コペルニクスと現代』（時事通信社、一九七  
三年七月）  
Copernicus iaponicus, *Japanese Studies*, No. 12, 1-3, 1973.
- 寺田寅彦先生の思い出 宇田道隆編『科学者寺田寅彦』 NHK ブックス（一九七五年二  
月）  
中世における二、三の数学書について 数学史研究第65号（日本数学史学会、一九七五年  
二月）  
御雇外国人資料解説（理工系） 『資料御雇外国人』（小学館、一九七五年五月）  
三浦梅園と自然科学 梅園学会報第2号（梅園学会、一九七六年六月）  
C・プラッカー、M・ローウェ編『古代の宇宙論』（矢島文夫共訳）（海鳴社、一九七六年  
七月）  
後期スコラ学と自然科学——アンネリーゼ・マイヤー女史の業績に寄せて 科学史研究第  
119号（岩波書店、一九七六年九月）  
『アラビア科学史序説』（岩波書店、一九七七年三月）  
十三世紀アラビアの数学書から 岩波講座「基礎数学」月報15（一九七七年一二月）  
ニコラウス・クサーヌスとその時代——十五世紀前半のラテンの科学 科学史研究第123  
号（岩波書店、一九七七年一二月）  
粘土板のピタゴラス数 BASIC 数学（現代数学社、一九七八年六月）  
アラビア科学と日本 月刊高校通信東書日本史・世界史（東京図書、一九七八年七月）  
アルハーゼンの『光学書』から エピステマー（朝日出版社、山九七八年九月）  
アラビア科学研究ノート——ベルシア人李密医について、蒙古軍の「てっほう」について  
科学史研究第127号（岩波書店、一九七八年一二月）  
ファラデーの本との出会い 季刊泉第22号（文化総合出版、一九七九年一二月）  
『アフバル・アッ・スィン・ワル・ヒンド』について（アラビア科学研究ノート2）  
科学史研究第132号（岩波書店、一九八〇年三月）

アレクサンドリア図書館の焼失問題（アラビア科学研究ノート3） 科学史研究第133号  
（一九八〇年五月）

学芸の保護者としてのサラディン（アラビア科学研究ノート4） 科学史研究第135号（一  
九八〇年）

『矢島せい子の足跡』 矢島祐利編 （ドメス出版、一九八九年一月）

『矢島せい子文集 あらくさの花』 矢島祐利編 （ドメス出版、一九八九年一二月）

オランダ日記 ももんが（一九八九年十一月、一二月号）

パリ日記 ももんが（一九九〇年五月 — 七月号）

イスラエル日記 ももんが（一九九〇年一二月 — 九一年三月号）

デュエムのレオナルド研究 ももんが（一九九一年十一月 — 九二年九月号）

『科学史とともに五十年』 （中央公論社、一九九三年十一月）